



JadongPay

\$JPAY

Binance Smart Chain上のオンチェーン手数料再分配プロトコル

ホワイトペーパー V2.0 — 2026年6月

JadongPay (JPAY)

ホワイトペーパー — バージョン 2.0 | 2026年6月

JadongPayは、オンチェーンの手数料再分配メカニズムを備えた、*Binance Smart Chain*上のBEP-20トークンです。売却取引の手数料の一部がUSDTに変換され、透明なスマートコントラクトを通じて保有者に比例的かつ自動的に再分配されます。

重要な通知

本書は、JadongPayスマートコントラクトおよびそのメカニズムに関する技術的な説明です。これは投資助言、目論見書、または投資の勧誘では**ありません**。JPAYはユーティリティトークンです。その取得には、投入額の全額損失を含む重大なリスクが伴います。本書のいかなる内容も、財務的リターンの約束、保証、または予測を構成するものではありません。参加前に、第12節の完全な法的免責事項および利用規約をお読みください。ご自身で調査を行ってください（DYOR）。

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 背景
3. メカニズム
4. JPAYトークン
5. 手数料再分配の仕組み
6. トークノミクス
7. プレセール
8. セキュリティと透明性
9. ロードマップ
10. ガバナンスと所有者権限
11. 参加方法
12. 法的免責事項とリスク警告

1. エグゼクティブサマリー

JadongPay (JPAY) は、1つの技術的メカニズムを中心に構築された、Binance Smart Chain上の BEP-20ユーティリティトークンです。すなわち、売却取引に適用される手数料が、USDTで保有者に部分的に再分配されます。

JPAYがPancakeSwapで売却されると、スマートコントラクトは10%の手数料を適用します。この手数料のうち7%が再分配プールに割り当てられ、USDTに変換され、最低基準を超える保有者がその残高に比例して請求できるようになります。残りの手数料は、永久的なトークンバーン（2%）、リザーブウォレット（0.5%）、マーケティングウォレット（0.5%）に分配されます。

このメカニズムは、BscScanで検証された不変のスマートコントラクトに実装されており、決定論的で公開監査可能なロジックを備えています。利益の約束、リターン予測、トークンの価値や再分配される可能性のある手数料額に関するいかなる種類の保証もありません。これらは完全に第三者の取引活動に依存しており、予測不可能です。

主要な技術パラメータ:

パラメータ	値
ブロックチェーン	Binance Smart Chain (BSC)
トークン規格	BEP-20
総供給量	5,000,000 JPAY (固定)
プレセールレート	7,000 JPAY / BNB
上場レート	1,400 JPAY / BNB
売却手数料	10% (再分配 + バーン + リザーブ + マーケティング)
購入 / 送金手数料	0%
スマートコントラクト	不変 — 内部監査 v4.0

2. 背景

DeFiトークン分野には、JadongPayの設計が対処する繰り返し発生する技術的欠陥があります:

インフレ型再分配モデル。 多くのトークンは、自身の供給量を増発することで再分配を行い、保有者を希薄化させます。JadongPayは再分配のために新しいトークンを発行しません。売却手数料から得られる安定資産 (USDT) を再分配します。

スナップショットベースのシステムは受動的なウォレットを除外します。 エポックベースのシステムは、最近取引したウォレットにのみクレジットを付与します。JadongPayは継続的な会計モデル（Dividend-Per-Share）を使用し、比例計算が常にすべての対象残高に適用されます。

不透明なオフチェーン計算。 オフチェーンのデータベースで計算された再分配は、独立して検証することができません。JadongPayの計算は完全にオンチェーンで決定論的です。

JadongPayはこれらの点に対する技術的な対応です。投資機会であると主張するものではなく、再分配メカニズムは利回り、配当、または収入の保証を構成するものではありません。

3. メカニズム

発行トークンではなく、安定資産での再分配。 再分配される金額はUSDTであり、売却取引で徴収された手数料のみから得られます。この目的のために新しいJPAYは作成されません。総供給量は固定されており、（バーンを通じて）減少することのみ可能です。

継続的な比例会計。 JadongPayはDividend-Per-Share（DPS）モデルを使用します。ウォレットに帰属する再分配の取り分は、ウォレットが取引するかどうかに関わらず、その残高に比例して継続的に計算されます。金額は保有者の裁量で請求可能です。

完全にオンチェーンで検証可能。 スマートコントラクトはオープンソースで、BscScanで検証されており、不変です。すべての計算は、誰でも検証できる決定論的な数式に従います。ブラックボックスはありません。

約束なし、予測なし。 潜在的に再分配される金額は、完全に第三者によって行われる売却取引量に依存します。この量は予測不可能であり、ゼロになる可能性があります。このメカニズムは技術的機能であり、保証された収入源ではありません。

4. JPAYトークン

JPAYは、以下の技術的特性を持つBEP-20ユーティリティトークンです：

手数料再分配への参加。 最低基準（1,000 JPAY）を超えてJPAYを保有すると、ウォレットは売却手数料を通じて徴収され再分配プールに入れられたUSDTの比例的な取り分の対象となります。

デフレ的特性。 各売却取引の2%は標準的なERC20バーン機能を通じて永久的にバーンされ、総供給量を実際に減少させます（ `totalSupply()` を通じてオンチェーンで検証可能）。

トークンの仕組み

JPAYは**売却のみに10%の手数料**を適用します。購入およびウォレット間の送金には手数料がかかりません。

手数料の構成	比率	用途
USDT再分配	7.0%	保有者向け再分配プール
バーン	2.0%	永久的な供給量削減（実際のバーン）
リザーブ	0.5%	プロジェクトリザーブウォレット
マーケティング	0.5%	マーケティングウォレット
合計	10.0%	

7%の再分配部分はコントラクト内でJPAYとして徴収され、技術的なしきい値に達するとPancakeSwap（JPAY → WBNB → USDT）を通じてUSDTに変換されます。USDTはコントラクトに保管され、保有者が裁量で請求します。

5. 手数料再分配の仕組み

JadongPayは**Dividend-Per-Share（DPS）**モデルを使用します。説明のための技術例（予測ではありません）：

コントラクトが1,000 USDTを再分配プールに変換し、対象となる流通供給量が2,000,000 JPAYの場合：

$$\text{トークンあたりの取り分} = 1,000 \text{ USDT} / 2,000,000 \text{ JPAY} = \text{JPAYあたり} 0.0005 \text{ USDT}$$

この計算は継続的に行われます。USDTがプールに追加されるたびに、アキュムレータ `rewardPerShareStored` が増加します。ウォレットの請求可能額は、現在のアキュムレータと最後に記録されたチェックポイントとの差から計算されます。

対象となる最低保有量： 1,000 JPAY **請求方法：** 請求可能な残高のあるウォレットから

`claimRewards()` を呼び出します。

プールは売却取引が発生した場合にのみ補充されます。**したがって、再分配される金額は完全に第三者の取引量に依存し、予測不可能であり、ゼロになる可能性があります。** 1,000 USDTという数字は計算例であり、予測ではありません。

6. トークノミクス

配分	%	JPAY数量	ベスティング
プレセール	50%	2,500,000	クリフ時10%、12か月で線形90%
流動性	15%	750,000	ロック
チーム	15%	750,000	クリフ時5%、24か月で線形95%
マーケティング	10%	500,000	クリフ時10%、12か月で90%
リザーブ	10%	500,000	クリフ時10%、12か月で90%

総供給量：5,000,000 JPAY（固定、バーンによってのみ減少可能）。

配分はプレセールの実際の結果に比例します。ハードキャップの未販売部分は**決して発行されません**（供給量として存在しません）。これは `unmintedSupply` を通じてオンチェーンで追跡され、バーンされたトークンとは区別されます。バーンされたトークン（売却手数料 + 流動性作成時の不足分）は実際に破棄され、`totalSupply()` を減少させます。

基準と制限

- 再分配対象の最低保有量：1,000 JPAY
- 最大売却制限：流通供給量の1%（操作防止）
- 購入と送金：手数料0%

7. プレセール

プレセールに固定された日付はありません。コミュニティが定められたマイルストーンに到達したときに開始されます（公式チャンネルで発表）。オフアリングは意図的に上限が設けられています。

パラメータ	値
レート	7,000 JPAY / BNB
ソフトキャップ	500,000 JPAY
ハードキャップ	2,500,000 JPAY
最低拋出額	0.01 BNB
最高拋出額	ウォレットあたり5 BNB

オフアリング規模と規制の枠組み。 総オフアリングは、適用されるデミニミス基準を下回るように上限が設けられています。市場状況により調達総額がその基準に近づいた場合、プロジェクトはプレセールを開始しない、または終了する権利を留保します。

プロセス

1. プレセール開始 (`startPresale`)
2. 参加者はBNBで拠出 (0.01~5 BNB)
3. 24時間の最終化タイムロックが適用されます (フロントランニング防止、一回限り)
4. ソフトキャップに達した場合: 流動性の作成 + PancakeSwap上場
5. ソフトキャップに達しなかった場合: `refundContribution()` を通じて全額返金可能

上場後

- 流動性作成後2時間のクリフ
- プレセールベスティング: クリフ時10%、その後12か月で線形90%
- `claimTokens()`、次に `claimVestedTokens()` を通じて請求

8. セキュリティと透明性

v4.0コントラクトは以下を受けています: - **4回の内部監査** — 42の脆弱性を特定し解決 - **97の自動テスト** (ユニット + 不変条件 + エンドツーエンド統合) - **Slither**静的解析: 対処可能なHigh検出0件 (文書化された誤検知1件) - **Mythril**シンボリック解析: JadongPayで問題0件検出

外部監査は委託されていません。セキュリティは内部レビューとAI支援の静的解析に依存しています。完全なレポートはドキュメントページで入手可能です。

主要な保護

- Solidity 0.8.26 + OpenZeppelin 5.x
- 不変コントラクト: アップグレード可能なプロキシなし、管理者バックドアなし
- BscScanで検証済み (公開ソースコード)
- 流動性は事前承認され公開されたロッカー (PinkLock/UNCX) に転送され、ロックの証明がオンチェーンで公開されます
- 価値を扱うすべての関数にCEIパターン + nonReentrant
- すべての管理者パラメータに境界 (ハードコードされた最小/最大)
- 実際のバーン: `totalSupply()` が実際に減少、オンチェーンで検証可能

チームができないこと

- 総供給量または手数料率の変更
- デプロイされたコントラクトのアップグレードまたは変更
- 再分配プールに保管された資金へのアクセス
- 流動性の引き出し（独立してロック）

9. ロードマップ

フェーズ1 — 設計と開発（2024 - 2026年5月） スマートコントラクトv4.0（97テスト、4回の監査）、BSCテストネット検証、10言語ドキュメント、AIマルチエージェントインフラの仕様策定。

フェーズ2 — ローンチ前（2026年6月） 内部セキュリティ監査完了、dAppおよびウェブサイト公開、コミュニティ構築（Telegram、X、Instagram、TikTok）。

フェーズ3 — プレセールと上場（コミュニティマイルストーン後） 公開プレセール、PancakeSwap V2上場、上場データをトラッカー（CoinGecko、CoinMarketCap）に提出。

フェーズ4 — 成長と成熟 エコシステムの発展、潜在的なCEX上場、コミュニティガバナンスへの移行。

10. ガバナンスと所有者権限

透明性のため、コントラクト所有者が保持する権限を明示的に列挙します：

権限	効果	制限あり？
一時停止	外部送金のみ一時停止（請求/返金は有効のまま）	—
ブラックリスト	アドレスの取引をブロック	—
手数料/報酬の除外	運用管理	—
最低保有量の設定	再分配基準	はい [100; 10,000] JPAY
最大売却の設定	売却制限	はい [0.1%; 10%]
Trusted locker	LPロッカー（SETUPのみ、一回限り）	SETUP後に凍結

ガバナンス計画： 安定した取引後30日以内に、2段階の移転（Ownable2Step）を通じて所有権を Gnosis Safe 2/3マルチシングに移転する予定です。署名者のアドレスは公開されます。

11. 参加方法

参加は**公式dApp (jadongpay.com) を通じてのみ**行われます。拋出する前に、参加者は公式ドキュメントを読み、利用規約、リスク警告を明示的に承諾し、制限された管轄区域に居住していないことを確認する必要があります。

チームから最初に連絡することは決してなく、シードフレーズや秘密鍵を要求することも、個人アドレスに資金を送るよう求めることも決してありません。エアドロップや紹介プログラムはありません。そのような勧誘はすべて詐欺です。

12. 法的免責事項とリスク警告

JPAYは公開ブロックチェーンにデプロイされたユーティリティトークンです。本書は目論見書ではなく、いかなる規制当局からも承認されていません。投資助言、金融商品、または勧誘を構成するものではありません。

リスク警告。 JPAYの取得には、以下を含むがこれらに限定されない重大なリスクが伴います：投入額の損失、極端な価格変動、保証されたリターンの欠如、技術的/スマートコントラクトリスク、流動性リスク、規制リスク。手数料再分配メカニズムは、利回り、配当、または保証された収入を構成するものではありません。潜在的に再分配される金額は、予測不可能な第三者の取引活動に依存し、ゼロになる可能性があります。

JadongPayプロジェクトのいかなる要素も、財務的リターンまたは資本増価の約束を構成するものではありません。言及された数字は、ある場合、説明のための技術例であり、予測ではありません。

広範な内部テスト（4回の監査、97の自動テスト、静的解析）にもかかわらず、リスクのないソフトウェアは存在しません。参加者は、ご自身で調査を行った上で、自己責任でJPAYを取得します。

このプロジェクトは欧州連合から運営されており、規則（EU）2023/1114（MiCA）を含む適用される規制枠組みの遵守を目指しています。利用規約で定義される制限された管轄区域の居住者の参加は禁止されています。

JadongPay ライトペーパー v2.0 — 2026年6月 — コントラクト v4.0-compliance 本書は情報提供を目的としており、変更される場合があります。権威ある情報源はオンチェーンのスマートコントラクトです。